

地震からの復興を経て

元気になった中ジャワ・ジョグジャカルタに会いにゆけ！

2006年5月27日、ジャワ島中部で起こった地震によって多数の死者と負傷者が出ました。インドネシア民主化支援ネットワーク(NINDJA)は、これまで現地と培ってきた草の根のネットワークを生かし、被災者が少しでも早く自立した生活を取り戻せるよう、モノ売りに対する支援、被災村でのヤギ飼育およびメロン栽培プログラムをおこなってきています。

そして、震災から3年近くになる09年春、みなさまと一緒にその被災地を訪問する旅を企画しました。現地の人びとはどのように地震の被害から立ち直り、現在はどのような生活を送っているのか、を直接見聞きできる貴重な機会です。NINDJAが支援したカキリマ(屋台)を巡ってお茶や食事を楽しんだり、被災した村の住民と一緒にヤギの解体や料理をしたり…と、地元の人びとと共に過ごす時間はほかでは得られません。それ以外にも、パティック工房でのロウつけ体験や川下りなど、中ジャワの文化や自然をたっぷり堪能できる一週間です！



2009年2月23日～3月1日 インドネシア・ジャワ島中部の地震被災地を訪ねる旅

日程

2009年2月23日(月)～3月1日(日)
航空券手配の都合上、日程が多少前後する
可能性がございますが、ご了承ください。

ツアー行程

- 【1日目】成田集合 デンパサー乗継 ジョグジャカルタ泊
- 【2日目】被災地でのパティックロウつけ体験*1
パントゥル県の屋台でお茶や食事、被災者へのインタビュー ジョグジャカルタ泊
- 【3日目】ウォノギリダム*2見学、住民へのインタビュー ソロ(スラカルタ)観光 ソロ泊
- 【4日目】ブンガワン・ソロ川下り*3 ジョグジャカルタ泊
- 【5日目】クラテン県のヤギ&メロン・プロジェクトの見学、被災村民とヤギの解体&料理
ジョグジャカルタ泊
- 【6日目】ジョグジャカルタ市内自由行動*4
ジョグジャカルタ発 ジャカルタ乗継(機内泊)
- 【7日目】成田着

- *1 ロウつけした布はバッグにしてお土産に！
- *2 日本のODAで1982年に建設された多目的ダム。ダム建設にあたり、多くの地元住民がストマラ島南部に移住しました。
- *3 天候によって変更になる場合があります。
- *4 希望者の方には、オプションツアーもご用意する予定です。

催行人数 最小6人、最大10人

参加費

一般：21万5000円(学生：19万5000円)
NINDJAの会員の方は上記金額より1万円を値引きします。この機会に会員になっていただくことをお勧めします。

参加費には、国際線航空券(燃油サーチャージ込み)、空港利用税、国内移動費、宿泊費、食費、訪問先への謝礼、その他諸経費が含まれます。保険代、到着地発給ビザ代、シングルルーム追加料金、お土産代、電話代、クリーニング代などは、各人の負担となります。

お申込方法

裏面の申込書に必要事項を記入の上、FAXもしくは郵送でNINDJA事務局までお送りください。1週間以内に折り返しのご連絡をいたします。

締切(第1次) 2009年1月15日(木)

<< ジョグジャカルタ周辺地図 >>

